



アパレル関係



新幹線の座席



国会議事堂の議員席に使われている生地

高野口パイルのその高い品質は、しばしばアザラシの毛皮（シール）と表現されるほどであり、肌触りが良く、伸縮性に富み、摩擦に強く、保温性も高いことが特徴です。

その高い品質から、国会議事堂や新幹線の座席、誰もが聞いたことがあるような高級アパレルブランドなどでは依然として高野口パイルが多く使用されています。

高野口パイルの歴史は、明治時代の「再織」に始まり、昭和50年頃には、パイル織物の国内シェアが約90%になるほどの一大産地となりました。しかし、グローバル化が進むにつれて海外の廉価品に押され、徐々にその生産高を落としていきました。

高野口パイルの歴史は、明治時代の「再織」に始まり、昭和50年頃には、パイル織物の国内シェアが約90%になるほどの一大産地となりました。しかし、グローバル化が進むにつれて海外の廉価品に押され、徐々にその生産高を落としていきました。

高野口パイル



ループパイル



カットパイル

パイルには大きく分けて2種類あり、織り出された糸（パイル糸）の加工方法によって種類が変わります。1つ目は、パイル糸をそのままにして仕上げた「ループパイル」です。タオル生地が有名ですが、スウェットなどの裏毛生地にもこのループパイルが使われる事があります。

2つ目は、パイル糸の先端をカットして仕上げたもので、これを「カットパイル」と呼びます。ベロア生地など、洋服で多く使われるのは、このカットパイルです。

パイルの種類

パイルとは、生地の片面、もしくは両面に「糸」を織り出してある生地のことをいい、ふんわりと柔らかく、気持ち良い肌触りが特徴的です。身近なものでいうと、タオルや洋服、雑貨・家具などによく使用されている生地です。

そもそもパイルって何？

1.Pile

生活を彩る
ふわふわ、ふんふん

KOYA GUCHI
PILE FABRIC

高野口パイルの歴史をめぐる

高野口パイル織物資料館

☎0736-42-3113

高野口が世界に誇る地場産業、パイル織物の歴史や魅力を発信する資料館。館内では時代とともに進化を遂げた数々のパイル製品をはじめ、再織手織機や特殊な裁断機などが展示されています。

営業時間 9:00~17:00

住所 橋本市高野口町名倉1067

